

保健環境センターだより

Vol.11

平成27年10月29日

栃木県保健環境センター

公開デーに600人超のお客様ご来場!!

7月11日(土)に、保健環境センターの施設を一般公開する「保健環境センター公開デー2015」を、「遊ぼう! 学ぼう! 科学ゆうえんち」をテーマに開催しました。

当日は天候にも恵まれ、647名の方にご来場いただきました。

ありがとうございました。



光のふしぎ (万華鏡作り)



大声コンテスト



水辺の生き物を探そう



ストレスチェック

保健環境センターがふだんの試験・研究で使用している機器や科学の原理を使った実験、工作、ゲームなどを体験していただきました。

(ここで紹介できなかったコーナーは、保健環境センターホームページに掲載しています。)

栃木県保健環境センター

検索

<http://thec.pref.tochigi.lg.jp>

「いせん」をご存じですか

食品薬品部

「いせん」は、漢字で「移染」と書きます。衣類などの染料や揮発性のある化学物質が、ほかの衣類に付いたり吸収されたりすることを言います。

縮みやしわを防ぐ加工をした衣類に、揮発性のホルムアルデヒド（ホルマリンとも言います。）が含まれ、肌のはれやかゆみなどの健康被害につながる場合があります。このため「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基準が定められており、とくに乳幼児の衣類は、検出限界（16ppm）以下であることとされています。

県では、法律に基づいて、市販されている



衣類のホルムアルデヒド検査を実施しています。平成 26 年度に食品薬品部が行った検査では、乳幼児用の繊維製品 30 件について、すべて基準に適合していました。

店頭などで、乳幼児用の衣類の袋に、「袋から出さないでください。」と書いてあるのをご覧になったことはありませんか。検査で検出することは少ないものの、ホルムアルデヒドを含む衣類と乳幼児用の衣類が接触したまま保管陳列されると、「移染」してしまいます。乳幼児の健康被害を防げるよう、袋から出さないマナーを守ることが大切です。

ホルムアルデヒド検査実績

年度	22	23	24	25	26
検査数	30	25	31	31	30
違反数	0	1	0	0	0

*H23 年度の違反は移染によるものではありませんでした。

PM2.5ってなに？

大気環境部

大気環境部では、PM2.5 が何からできているのか、どのくらい空気中にあるのか、増えているのか減っているのかなどを調べています。PM2.5 は、テレビ等で聞いたことがある方も多いと思います。今回は、この PM2.5 がどんな物なのかを紹介しようと思います。

PM2.5 とは、直径が 2.5 マイクロメートル以下の非常に小さな粒子のことで、PM2.5 という物質があるわけではありません。体に悪そう、怖いと心配する人も多いと思いますが、PM2.5 は物を燃やした時に必ずできるものなので、たき火をしたり車に乗ってもできるものです。他にも化学変化でガスから変化したものや、細かい塵(ちり)も PM2.5 になります。つまりは、昔からどこにでもある物なのです。

しかしながら、PM2.5 は高濃度になると健康に害があらわれる可能性があります。もしも高濃度になった時は、不要な外出や屋外での激しい運動は控えて下さい。

現在の濃度は「とちぎの青空」(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d03/eco/kankyuu/hozen/aozora.html>)で見ることができますので、是非ご利用ください。

人間の毛髪	杉花粉	PM2.5
約70 μ m	約30 μ m	約2.5 μ m以下

??? クイズ ???

衣類などの染料や揮発性のある化学物質が、ほかの衣類に付いたり吸収されたりすることを、なんというのでしょうか？

発行 栃木県保健環境センター
〒329-1196 栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13
Tel 028-673-9070 Fax 028-673-9071
E-mail infovo@thec.pref.tochigi.lg.jp
<http://www.thec.pref.tochigi.lg.jp>

（添付）のり：そぎのり